

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 寿栄会	代表者	田名部 厚子	法人・ 事業所 の特徴	利用者の個性性を重視し、日常生活や余暇活動において画一的な処遇とならないよう に計画を立て、個別支援を基本としたサービスをご利用いただいている。加えて、グ ループホームが併設しており、入居を希望する際は地域とのこれまでの関係性を継続 しながら、スムーズに入居サービスへの移行ができるように支援をしている。
事業所名	りんごっこ寿楽荘	管理者	林上 正憲		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団 体	利用者	利用者家族	地域包括支援センタ	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	0人	1人	0人	2人	1人	0人	2人	人	7人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の 確認	・今後においても自己評価に関する研 修を継続的に実施し、自己評価の重要 性について、意識の向上を目指す。	・自己評価について話し合い、職員全員が 自己評価の重要性について理解を深め、 今後の業務の改善について検討しながら 取組みを行った。	・その都度、各項目の課題を振り返り 、より良い方向へと努めている様 子が感じられる。 ・情報を事前共有する事で早い段 階で事業所のサービスを提供する 事が出来ていると感じる。	・引き続き自己評価の内容について知 り得た情報を職員間で共有し合いなが ら、自己評価を少しでも向上出来る様 に取り組んでいく。 ・改善計画の内容を意識しながら業務 に当たる事で、より良いサービスを提 供出来る様努める。
B. 事業所の しつらえ・環境	・施設内の飾りつけ等を工夫し、季 節に合った居心地の良い空間作りに 努める。 ・施設内だけではなく、玄関や庭など を清潔で明るい環境に保ち、地域 の方々が気軽に立ち寄れる事業所を目指 す。	・利用者様方の年齢や季節に合わせて環 境を整え、居心地の良い空間でお過ごし いただけるように配慮をした。 ・感染症に留意しつつも、直接の面会がで きる場所として家族面会室の利用を促し た。	・いつも清潔で気持ちの良い環境 だと思います。 ・季節に合わせた飾りなどがある ことで、気持ちが明るくなる。 ・機会があれば施設内を見学させ て欲しい。	・利用者様方が過ごしやすい空間とな る様に施設内の飾りつけなどを行い、 季節を感じられる空間作りに努める。 ・地域の方々や利用者ご家族に施設内 を見学していただく機会を作り、気軽 に立ち寄りやすい事業所を目指す。
C. 事業所と地域の かかわり	・ご来訪いただける地域の皆様との関 わりを継続できるよう、その時々の状 況に応じて、可能な範囲で誠心誠意対 応させて頂く。 ・感染症対策をしっかりと行いなが ら、参加可能な地域行事やイベント等 には積極的に参加をさせていただき ながら、地域との関わりを継続を目指 す。	・地域にお住まいの方や幼稚園や保育園の 皆様が事業所を訪れ、触れ合う機会を持 つ事や、地域との関わりを継続すること ができた。 ・積極的に地域の行事へ参加をさせてい ただき、地域とのかかわりを持つ事が出 来た。	・地域とのかかわりは色々とし ながらも、情報を発信する事や快 く参加を受け入れる事を行っている と感じる。 ・地域と積極的に関わっているよ うに感じるが、職員皆が同じように 経験できる体制が望ましいと思う。 ・運営推進会議にも他の職員の出席 があると良いと思う。	・引き続き地域の方々との関わりを継 続できるよう、誠心誠意対応させてい ただく。 ・地域の行事やイベント等には積極的 に参加させていただきながら、地域と のかかわりの継続を目指す。 ・一部の職員だけでなく事業所全体で 関わりを持てる事を目指す。

	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
D. 地域に出向いて 本人の暮らしを支える取り組み	・感染症対策に十分に留意し、利用者様に馴染みのある小売店での買い物や、受診等に職員が付き添うことで、利用者様の暮らしを支えつつ、住み慣れた地域での暮らしを支えていく。 ・運営推進会議の資料や広報紙等を活用し、取り組みについて紹介する。 ・回覧版等から地域資源の情報を得て、可能な範囲で活用につなげる。	・利用者様、職員の感染症予防を徹底しながら、地域のスーパーでの買い物や受診等に職員が付き添い、生活圏域の中で地域との関わりを継続する為の支援をすることができた。 ・回覧板等の情報を職員間で共有し、地域の活動についての情報を得ながら、活動などへ参加するための方法を検討した。	・他の事業所ではなかなか取り組み出来ていない部分を積極的に実行していると思う。 ・利用者様の声を聴いて地域に出掛ける事や次の目標や計画を立てる実行力が良いと思う。 ・「利用者以外のご近所の心配な方」にはどのように関わっているのかあまり見えてこない。	・引き続き利用者様に馴染みのある小売店での買い物や、受診等に職員が付き添うことで、利用者様の暮らしを支えつつ、住み慣れた地域での暮らしを支えていく。 ・地域での生活を継続していただくために、利用者様の生活圏域で参加されていた行事などへ、可能な限り参加出来る様取り組んでいく。 ・地域の高齢者の困りごとや、不安をお持ちの方々に関わりが持てる様取り組む。
E. 運営推進会議を活かした取り組み	・地域福祉の発展に関する一助となるよう、運営推進会議の場や資料にて事業所や介護に関する情報を紹介する。 ・運営推進会議で頂戴したご意見等は、今後も事業所運営に取り入れ、サービスの質の向上に繋げる。	・運営推進会議やそれ以外でも、地域の取組や課題、心配のある方の情報などをお聞きする機会を持ち、必要時には事業所として可能な限り協力できるように努めた。 ・運営推進会議で頂戴をした、ご指摘やご意見については、出来ることから順に改善をした。	・詳しい資料と丁寧な説明が良いと思います。 ・取り組みの様子がいつも具体的に示されるので分かりやすく、参加者の意見も良く生かされていると感じる。 ・運営推進会議の場で、地域福祉の状況や動向、また、介護の情報を知る事が出来、学びになる。	・地域福祉の発展に関する一助となるよう、運営推進会議の場や資料にて事業所や介護に関する情報を紹介する。 ・運営推進会議で頂戴したご意見等は、今後も事業所運営に取り入れ、サービスの質の向上に繋げる。
F. 事業所の 防災・災害対策	・近隣の幼稚園や高等学校との避難訓練を継続して行う。 ・毎月の防災訓練の実施と運営推進会議での紹介を継続する。 ・火災、水害など多様な災害を想定し、総合防災訓練や机上訓練等を定期的に実施し災害に備える。	・近隣にある千葉幼稚園や向陵高等学校との合同避難訓練を実施する事が出来た。 ・水害時の避難確保計画や消防計画等、災害対策に必要な書類について、提出や変更が必要な際は速やかに作成し、届け出ることができた。	・防災訓練の内容を会議で伺い、実際に取り組んでおり、良いと思う。 ・近隣の高等学校や幼稚園と合同で避難訓練を行う事で、協力し合える部分を共通理解できた。お互いに情報共有して協力体制を整えたい。	・近隣の幼稚園や高等学校との避難訓練を継続して行う。 ・火災、水害など多様な災害を想定し、総合防災訓練や机上訓練等を定期的に実施し災害に備える。 ・BCPの職員への周知と理解を深める取り組みを継続して行う。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2025 年 8 月 20 日 (14 : 00～15 : 00)
1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー	林上、類家、舘、坂矢、松村、大村、細越、工藤、木野内、藤本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	15 名				15 名

前回の改善計画	①ご家族との情報交換や情報の共有が出来る機会をもち、関係作りに努める。 ②利用開始間もない利用者など、サービスに早く慣れて頂けるよう、職員間や利用者間でのコミュニケーションを図り、早期に関係性が構築できるよう努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	①送迎でご自宅へ伺った時に時間を取り、ご家族へサービス利用中の様子を書面だけでなく口頭で詳しくお伝えし、ご自宅での様子や困っている事を伺う事が出来、早期に良い関係作りが出来た。 ②利用開始間もない利用者の、詳細な情報や特性等を職員間で共有し、連携して積極的に声がけした事で早期にサービスの利用に慣れていただく事が出来た事で、サービスの中止に至る事は無かった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	15 名				15 名
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	15 名				15 名
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？	15 名				15 名
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	15 名				15 名

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
- 新規の利用者様の情報を事前に把握して共有出来た事で、初回の利用から安全に安心してサービスを利用していただく事が出来た。 - 体験利用前に必要な情報を集め、体験利用を通じてご本人様の情報を確認し共有した。 - 送迎の際にご家族様からご自宅での様子を聴き情報収集が出来た。 - 利用開始直後は職員が頻繁にお声掛けをすることで、なじみやすい雰囲気作りを心掛けた。 - ご家族様に送迎時に書面だけではなく、口頭でご利用中の様子を詳しくお伝えする事でご自宅での生活の様子や困っている事などを伺う事が出来、より良いサービス利用やご家族様の介護負担の軽減に役立つ助言を行う事が出来た。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
- 問い合わせから初回利用までの期間が短く、情報収集が間に合わない事があった。 - ご自宅での生活の変化やご家族の不安に対し、早期に助言や対応が出来ない事があった。 - 自分が知り得た情報をミーティングなどで共有できない事があった。 - 申し送りが不足する事で、リアルタイムに情報の共有が出来ない事があった。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
①ご家族との情報交換や情報の共有をした内容を、最低でも次回利用日までに職員間で共有できる仕組みを作る。 ②送迎などでご家族様と情報交換した内容から、利用者や家族の状況の変化や不安に対して速やかに対応出来るようにする。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2025 年 8 月 20 日 (14 : 00～15 : 00)
2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	メンバー	林上、類家、舘、坂矢、松村、大村、細越、工藤、木野内、藤本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	15 名				15 名

前回の改善計画	①本人の目標を普段の生活や会話の中からくみ取り、ケアプランへも反映させて職員間での共有のものとし、目標達成に向けた支援に努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	本人の目標を普段の生活や会話の中からくみ取り、ケアプランへも反映させて職員間での共有し、目標達成に向けた支援を行う事ができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	15 名				15 名
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	15 名				15 名
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	15 名				15 名
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	15 名				15 名

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・情報シートで集めた情報を基に、毎月の会議で目標について話し合っており、日々の関わりにも活かす事が出来ている。 ・認知症により意思の疎通が困難な方は、ご家族からも意見をいただいて目標設定をしている。 ・実践した事はミーティングで話し合い、振り返りを行い、次への対応へ繋げている。 ・目標を職員間で共有出来ており、日々のケアに反映できている。 ・利用者に変化があった場合はミーティングで共有、再検討して対応方法を変更した。 ・本人の目標について理解を深め、どう実現するかを利用者と話をして実践した。 ・会話以外の部分で利用者の思いや、出来て良かったという表情を見る事が出来るようになった。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・ある程度情報が集まると、それ以上を求めない事があり、対応がマンネリ化してしまう。 ・職員の数が少ない日は業務に追われ、会話が少ない事がある。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・本人の目標や当面の目標をケアプランに反映させ、ケアプランの内容をご家族や職員間で共有し、目標達成に向けて実践する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2025 年 8 月 20 日 (14 : 00～15 : 00)
3. 日常生活の支援	メンバー	林上、類家、館、坂矢、松村、大村、 細越、工藤、木野内、藤本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	15 名				15 名

前回の改善計画	①引き続き本人の情報を知るため、利用者様個別の情報シートを作成し、情報を知り得た職員が追加記入し、会議等で確認しながら共有する。 ②会話の中の些細なことでも話を深く掘り下げて情報を得て、ミーティング等で共有する。
前回の改善計画に対する取組み結果	①利用者個々の情報収集を目的とした情報シートを作成し、職員が都度記載して共有できるように努めた。 ②サービス利用時は、利用者の情報収集を意識して、会話の些細な事でも話を掘り下げて聞けるようコミュニケーションに努めた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか？	15 名				15 名
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	15 名				15 名
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	15 名				15 名
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	15 名				15 名
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	15 名				15 名

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・利用者の情報シートを作成し共有する事が出来た。 ・体調の変化や普段と違う行動は日々のミーティングで共有し、ご家族へも報告するなど即時的に対応出来ている。 ・変化に気が付いた場合は情報を多職種で共有できた。 ・ミーティングで本人の意思をくみ取った対応の方法や本人の状態変化を情報共有し、臨機応変な対応を行う事が出来ています。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・即自的な対応が難しい時があった。ケアマネなども連携して対応する事で可能となるのではないかな。 ・ケアマネや上司が不在で対応を決めるのに時間が掛かる事があった。 ・得た情報がケアプランに反映されていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・得た情報や対応している内容が計画書へ記載し、ご家族や職員が共有できるようにする。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2025 年 8 月 21 日 (14 : 00～15 : 00)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	林上、類家、舘、坂矢、松村、大村、細越、工藤、木野内、藤本

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	13名	2名			15名

前回の改善計画	①地域との関係性の継続を目的として、地域の商店の利用や地域行事への参加等、個別の対応を継続する。 ②民生委員と事業所間で顔馴染みの関係性を築くとともに、地域資源についての情報を得ながら、十分な把握ができるよう努める。 ③民生委員や地域の資源について、事業所内での研修を行う。
前回の改善計画に対する取り組み結果	①本人の生活圏域での外出行事を行い、地域の公民館まつりへの同行などの個別の対応を行った。 ②地域の民生委員の方に運営推進委員を引き受けていただき、地域の情報を得る機会を作る事が出来た。 ③民生委員や地域の資源について、事業所内での会議や研修等で話し合う機会を持てなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	15名				15名
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	14名	1名			15名
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	14名	1名			15名
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	3名	1名	7名	4名	15名

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ご本人様の情報を積極的にご家族様へお伝えする事で、ご自宅での様子などを伺う事が出来た。 ・ご本人様の事業所での様子をご家族様へお伝えし、ご家族との関係性の維持に努めた。 ・その方がお住い地域行事への参加をお手伝いし、地域との関係性の維持に努めた。 ・主介護者だけでなく他のご家族様へも情報共有し、必要に応じて介護に協力していただける様に働きかけた。 ・地域の民生委員の方に運営推進委員として協力して頂き、地域の情報を教えていただく事や地域方々との繋がりを維持する事ができた。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・一部の職員しか民生委員や地域の方々とお会いする機会が無い。 ・地域資源の情報を集める事が出来なかった。 ・民生委員や地域資源について、事業所内での研修機会がなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
①地域との関係性の継続を目的として地域行事への参加等、個別の対応を継続する。 ②民生委員と事業所間で顔馴染みの関係性を築くとともに、地域資源についての情報を得ながら、十分な把握ができるよう努める。 ③民生委員や地域の資源について、事業所内での研修を行う。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2025 年 8 月 21 日 (14:00~15:00)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	林上、類家、館、坂矢、松村、大村、細越、工藤、木野内、藤本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	13名	2名			15名

前回の改善計画	①運営推進委員や民生委員、町内会長や地域の皆様から、地域資源についての情報を集め、活用できるように取り組む。 ②日々の状態についてミーティングや会議で話し合い共有することで、利用者様の状態の変化やニーズに合わせ、妥当適切かつ柔軟な支援に努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	①地域の行事へ参加する事で、町内会長や地域の皆様に顔を知ってもらい、情報交換する機会を持つ事ができた。 ②日々の状態についてミーティングや会議で話し合い共有することで、利用者様の状態の変化やニーズに合わせた妥当適切かつ柔軟な支援ができている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	12名	2名	1名		15名
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	14名	1名			15名
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	15名				15名
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	15名				15名

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
- 気付いたことをミーティングや記録で共有して対応している。 - 本人様の近所付き合いのある方や近くに住むご家族の協力を得るなどの資源は活用している。 - 日々のかかわりの中での状態の変化に気付く事が出来、情報共有を図りながらニーズに応じたサービスを提供する事が出来た。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
- 地域資源については知り得ている資源とその内容が薄く、活用機会もなかった為、事業所と家族だけで本人の暮らしを支えていた。 - ほとんどの日の通い・宿泊の人数が多く、急に利用したい利用者が複数あった場合に利用できない可能性がある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
①運営推進委員や民生委員、町内会長や地域の皆様から、地域資源についての情報を集め、活用できるように取り組む。 ②「通い」「宿泊」「訪問」のサービスが妥当適切に計画が立てられているか、ご本人やご家族からのニーズを踏まえながら検証する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2025 年 8 月 21 日 (14 : 00～15 : 00)
6. 連携・協働	メンバー	林上、類家、舘、坂矢、松村、大村、細越、工藤、木野内、藤本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	8 名	7 名			15 名

前回の改善計画	・地域の活動やイベント、会議への参加や、事業所での行事なども実施し、地域との連携・協働に努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	①地域の行事へ参加し、町内会長や地域の皆様と情報交換する機会を持つ事ができた。 ②地域の方々も参加できる行事を開催し、地域の皆様にも参加していただく事が出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	3 名		1 名	11 名	15 名
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	2 名		1 名	12 名	15 名
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	15 名				15 名
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	15 名				15 名

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・施設へ地域の幼稚園や保育園、高等学校の生徒が行事等で訪問している。 ・管理者や計画作成担当者が地域の会議などへ参加している ・利用者から希望を募り、地域の行事などへ参加している ・地域のスポーツチームとの交流会を行った。 ・計画作成担当者はサービス担当者会議を行っている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・自治体や地域包括支援センターとの会議へ参加する機会が無かった。 ・行事以外で地域の住民が事業所を訪れていただけていない。 ・地域ケア会議へは一部の職員のみが参加しており、他の職員は内容は聞いているが参加は出来ていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・引き続き地域の活動やイベント、会議への参加や、事業所での行事なども実施し、地域との連携・協働に努める。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2025 年 8 月 22 日 (14 : 00～15 : 00)
7. 運営	メンバー	林上、類家、館、坂矢、松村、大村、 細越、工藤、木野内、藤本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	13名	2名			15名

前回の改善計画
①今後も地域との協働機会を増やしていけるよう、地域の活動には可能な限り参加するとともに、事業所にも足をお運びいただけるようなイベント等の企画・開催を継続する。 ②運営推進会議へ多くの方々に参加していただけるよう、会議の主旨を説明し、ご理解を得ながら参加を呼び掛ける。
前回の改善計画に対する取組み結果
①地域の活動へ参加する事が出来、事業所へ足を運んでいただけるようなイベント等を行う事が出来た。 ②毎回文書での案内や電話や直接お会いしての運営推進会議への参加依頼を行ったが、ご家族様方に運営推進会議へ参加していただく事が出来なかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？	14名	1名			15名
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	15名				15名
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	14名	1名			15名
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	13名	2名			15名

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ご本人、ご家族、地域の方々からの苦情やご意見については早急に運営に反映している。 ・日々のミーティングなどで自分の意見をしっかりと伝える事が出来ている。 ・地域の行事や取り組みや行事に参加する事で事業所の事を知っていただく機会が増えた。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・運営推進会議へご家族様の参加が少ない。 ・地域へ積極的に出向き、取り組みなどに参加しているが、地域に必要とされる拠点とはなっていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
①今後も地域との協働機会を増やしていけるよう、地域の活動には可能な限り参加するとともに、事業所にも足をお運びいただけるようなイベント等の企画・開催を継続する。 ②運営推進会議へ多くの方々に参加していただけるよう、会議の主旨を説明し、ご理解を得ながら参加を呼び掛ける。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2025 年 8 月 22 日 (14 : 00～15 : 00)
8. 質を向上するための取組み	メンバー	林上、類家、館、坂矢、松村、大村、細越、工藤、木野内、藤本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	13 名	2 名			15 名

前回の改善計画	①職場外の研修やオンラインでの研修に参加ができるよう、勤務や行事等の調整を行いながら参加機会を増やす。 ②引き続き内部研修でリスクマネジメントについて学ぶ機会を作り職員の理解を深める。
前回の改善計画に対する取組み結果	①リモートでの研修が増えた事から、職場外研修へ参加する機会を増やす事が出来た。 ②内部研修ではリスクマネジメントについてとりあげて理解を深めた。日々ヒヤリハットやインシデント報告を職員間で共有して、対応策を検討している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	15 名				15 名
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	15 名				15 名
③	地域連絡会に参加していますか	2 名	1 名	5 名	7 名	15 名
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	15 名				15 名

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること - 毎月施設内研修を行い、参加できない職員へは資料を確認できるようにしている。 - 施設外研修の情報を周知し、希望があれば参加できるように配慮している。 - ヒヤリハットやインシデントをその日のうちに共有し、対応策を検討して実行に移す取り組みを行っている。
--------	---

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 地域連絡会等へは限られた職員しか参加していない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
①職場外の研修やオンラインでの研修に参加ができるよう、勤務や行事等の調整を行いながら参加機会を増やす。 ②引き続き内部研修でリスクマネジメントについて学ぶ機会を作り職員の理解を深める。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2025 年 8 月 22 日 (14 : 00～15 : 00)
9. 人権・プライバシー	メンバー	林上、類家、舘、坂矢、松村、大村、細越、工藤、木野内、藤本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	11名	4名			15名

前回の改善計画
①成年後見制度は、必要な方に制度を活用していただけるよう、活用の意向や必要性があった場合は、適切なアドバイスを行いながら速やかに対応できる体制を今後も整える。 ②人権・プライバシーについては、全ての職員が日々の業務の中で十分に注意しながら対応しているが、時間の経過に伴う意識の低下を防げるよう、定期的な指導のもとで対処・対応できるよう努める。
前回の改善計画に対する取組み結果
①成年後見制度については、活用の意向や必要性があった場合は、対応できる体制づくりに努めた。 ②人権・プライバシーについては、全ての職員が内部研修や日々の業務の中で理解に努め、お互いに指摘し合うなど、十分に注意しながら対応できるよう努めた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	14名	1名			15名
②	虐待は行われていない	14名	1名			15名
③	プライバシーが守られている	14名	1名			15名
④	必要な方に成年後見制度を活用している	3名		4名	8名	15名
⑤	適正な個人情報の管理ができている	14名	1名			15名

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・成年後見制度の活用機会はなかったが、活用の意向や必要性があった場合において、適切なアドバイスを行いながら、速やかな対応をする体制を継続できた。 ・情報シートを基に、本人にとっての身体拘束がどの様な事であるか検討し、身体拘束をせずに対応する方法を検討できている。 ・個人情報の取り扱いについて、管理方法の見直しや強化がされ、十分な配慮が出来ていると思う。身体拘束、虐待ともになく、人権、プライバシーについても適切に保護することができた。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・成年後見制度について、活用機会がなかった。 ・	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
①成年後見制度は、必要な方に制度を活用していただけるよう、活用の意向や必要性があった場合は、適切なアドバイスを行いながら速やかに対応できる体制を今後も整える。 ②人権・プライバシーについては、全ての職員が日々の業務の中で十分に注意しながら対応しているが、時間の経過に伴う意識の低下を防げるよう、定期的な指導のもとで対処・対応できるよう努める。	